

クラブ ファンタジーだより

No. 16 1990・3



新会長

ごあいさつ



67 岡田 晴美

今年も私達の岡田山は、桜の花でいっぱい季節を迎えました。

この度、クラブ・ファンタジーのお仕事をさせて頂くことになりましたが、今日まで声楽の道を歩み、自らの研究と生徒のレッスン

下里前会長御逝去

先生は一月四日早朝、自宅二階の階段から落ちられ、八日午前一時八分、入院先の病院で亡くなられました。葬儀、告別式は九日正午から西宮市山手会館で、お嬢様の河本宣子さんを喪主に執り行われました。先生の小学校時代からの御友人の前田さんが七十年に及ぶ親交を、門下生を代表して桑田綾子さんが教師としてだけでなく、生活の面においても母親のように温かく、

にのみ打ち込んで参りましたから、卒業生の皆様の御期待に添った仕事が出来ますかどうか心配でございます。卒業後の一時期を除いて十二歳から今日まで過ごさせて頂いております神戸女学院の、また違った分野でお手伝い出来ますことに幸せと大きな責任とを感じております。立派な先輩方をはじめ、会員の皆様方にも御意見を伺い、より前向きな姿勢で参りたいと存じますので、どうぞよろしくお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

やさしかった先生の一面を披露して下さいました。お二人の心情あふれる弔辞に参列者一同涙をおさえることができませんでした。

小玉学長を始め、音楽学部、先生方、友人、門下生その他多くの方々が遠方より来られ心温まる盛大な葬儀が行われました。先生のお車は、愛唱歌の「椰子の実」や讚美歌の歌声に送られて、ゆつくりと会場を後にしました。心より先生の御冥福をお祈り致します。

下里先生を偲んで

岡田 晴美

下里先生！先生と初めてお目にかかりましたのは私が神戸女学院高等女学部（中高部）四年生でした。先生も私も神戸に住んでおりましたのに、戦争のために宝塚の方面へ転居した頃でした。学校でお友達と二重唱をしましたところ、同級生達が私に声楽の勉強をすすめ、ちょうど先生の姪御様と同級でしたから、早速習わせて頂くことになり、お宅へ伺いました。一人娘の宣子様が小学校の高学年で「おやつ頂戴」と先生に甘えられて、とても可愛いお嬢様でした。先生は三十歳代で先生の立派なお父様も御健在でしたね。その頃、私を驚かせた先生の鈴のような美声と、武庫川の畔の緑に包まれた古いお家を今も懐かしく思い出しております。

したのが御縁で、英文科や女子医大などへの進学を希望していた私は、すっかり人生の方向が変わってしまったのでした。その後、ドイツへの留学から帰国した私を音楽学部教授になっていらした下里先生と野崎先生、浅田先生が母校に迎えて下さったおかげで、今まで音楽と共に人生を歩んで参ることが出来ました。心から感謝しております。

先生！人を教えさせて頂くことはとても難しいと思いますが、生徒さんが懸命に努力されて上達された時は、嬉しくて涙が出ます。先生も大槻道子（現河辺）さんが音楽コンクール一位になられた時、本当にお喜びでございましたね。あんなにお元気でいらして暖かいお人柄でした先生が、私達の前から姿を消されてしまったとは、今でも信じられません。先生が昭和二十五年に関西歌劇団で歌われました「蝶々夫人」の素晴らしかった歌声と、可愛い蝶々さんのお姿は、私の胸にも、そしてその時聴くことの出来た人々の心にも永遠に残ることでしょう。

同級生の下里さん

49 中山道子

昭和のはじめの頃の音楽館は今日のような立派なものでなく、テレビに出て来ます異人館によく似てはいましても廊下はまっ暗、床はギーギーのありさまでした。でも何とはなくムードはありました。その頃私共



神戸市生まれ。神戸女学院専門学校音楽科卒業。野崎住子、オルグ・カラスロワ、伊藤武雄、福沢アクリヴィの各氏に師事された。音楽部声楽科専任講師に就任。戦争動員のため退職。宝塚歌劇団囃託、女学院大学声楽科講師、同志社女子大学声楽科講師、女学院助教、教授定年退職後梅花大学・短大に10年余り勤務。昭和7年より、関西のソプラノのソリストとして華やかに活躍。数々の音楽会、リサイタル、メソ出演。NHKはじめ各放送局に多数出演。昭和29年より最近審査員、またイタリアコンクール審査員として活躍。昭和57年尼崎市文化功労賞受賞。

んの良い生徒さんを育てられ、年一回は浅田先生と御一緒にすみれ会を開かれ、お招き頂いておりました。小森さんが企画なさって下さいました「お元気会」には八十歳前後の人達がお正月の集いをとて楽しんでおりました。暮にはお電話で「お元気？」「え、

十人が入学しました。全部で三十人ぐらいの学生のうち十人ぐらい長い袂の美しい和服にキリリと袴をしめていられ、下里さんもその中のお一人でとてもおしゃれさんでいらっしやいました。クラス全員がピアノだったので卒業の時は五人になってしまい、つい先日までは五人共健在だった

元気よ、お正月は会えるわね」というのが最後の会話になりました。今年は一月の九日の十二時という予定でしたので茫然としてしまいました。いつもカメラ御持参でまめにとつて下さり頼りにしておりましたのに。「あんないつも実物より美人にうつしてくれてやわ」

のです。声楽はわりと少く、下里さんの美しい歌声をきかれて野崎先生がおすゝめになったのではなかったかと思えます。声楽に移られてからメキメキと活躍をはじめられ学内では勿論のこと学外にもよくお出になつていらっしやいました。その後

と申すと「いやこれバカチヨンよ」とお返事。お別れの車がゆっくりと会場を去ります時美しい讃美歌がわき上がり、どうにも本当とは思えなかった私の頬に涙がつたりました。別れというものは本当に悲しいものでございます。

下里先生を偲んで

77 河辺 道子

下里先生が天に召されてもうすぐ二カ月、悲しみのうちにも先生は、私達の心の中に、再び生き生きと一緒に居て下さっているように思われるのです。お姿というより、先生の愛情が感じられるのです。たくさん思い出の中で、私にとって特に印象の強い先生のお姿を、書かせて頂きたいと思ひます。

それは女学院で、私が歌う事のあった、とてもうらかな日でした。帰ろうと音楽館を出ますと、途中の芝生で先生が、可愛いお花をいっぱいつんでいらっしやるのです。「貴女にあげようと思つてね。」と、ニッコリなさって手をふって下さっていました。お花はタンポポやすみれや名もない小さな野の花でした。そのお姿はそのまま今いらっしやる天国でのお姿のように思われるのです。又、先生の晩年、確か

エステイバルホールで、世界的なソプラノを御一緒に聴いた時の事でした。アンコールの最後まで聴くと出口が混むので、一足先にまだ人気の無い廊下に私達は出たのです。すると、天真爛漫な先生は、今聴いたばかりの歌の一節を、コロコロと的確にお歌いになったのです。耳を疑うばかりの若々しい天使のような魅力的なお声でした。

お葬式では、お写真の中から「だめねー、貴女もって勉強しなさいヨ。」と、確かにおっしゃったようので、思わず「先生、ごめんなんです。」と、つぶやきました。先生から受けた数々の御恩は、到底紙面では書きつくせません。

先生は門下生一同の人生そのものに関わって、喜び悲しみを共に味わって下さいました。天上では、きっと先生の歌声が響いている事でしょう。

故下里智恵子先生の御遺族よりクラブファンタジーへ五十万円の御寄付を頂きました。

下里さんとの六十年

J 52 吉駒 ひろ

私と下里さんとの直接の関わりは、私が女学校三年の時、野崎先生に教えて頂くようになった六十年近い昔に始まりました。当時下里さんは音楽部に四人しかいなかった声楽専攻の学生の一人で、素敵！でした。あんな風に歌えるようになりたいと思ったことでした。七年余野崎先生にお習いして、カラスロワ夫人に行くことになり、下里さんに連れて行って頂きました。じ

きに「ホフマン物語」の全曲演奏が海員会館であるので、私に二幕のジュリエッタが振り当てられ、三幕のアントニアは下里さんでした。青谷の婦人同協会幼稚園で男声の人達、コーラスも加わって夕方から夜にかけて練習しました。出番までの間に編物などして、急速にお近しくなりました。それより以前に宝塚ホテルでオペラ的一幕ずつの上演があつて、下里さんはファウストのマルグレーテの昇天の場を可憐にしかも力強く演じられました。カ夫人

は、「下里さん、ちよūdどの音、ちよūdどの声。」とほめておられました。戦後もカ夫人の所で、一緒にオペラアンサンブル、NHKラジオ、門下生リサイタル等に出たりしました。ずっといつもご親切にして頂いて、五年も下の私を友人のように扱って下さいました。

戦後NHKラジオの朝の歌に出演される時は、当時は録音のない時代でしたから朝七時にお宅を出ていかれたとのこと。又、朝日会館でのマダム・バタフライの主役はお見事でした。カ夫人がイタリアへ行かれて後ヴォルフをやりたいとお願ひしましたら、「一緒にしましょう。」とつき合せて下さいました。その後伊藤武雄氏に京都音楽短大で教えて頂きましたが、道をつけて下さったのは下里さんで、一緒に行くようになりしました。アクリヴィ先生が音楽部へいらつしやるようになった時「あなたも来ない？」と誘って下さり、いつもお世話になってばかりでした。思いがけないお別れになって、全く言葉が失っています。

1989年 クラブ ファンタジーの夕べ

10月25日
兵庫県民小劇場

プログラム 第一部

1. ピアノ独奏 林 規子
半音階的幻想曲とフーガ... J.S.バッハ
ト短調 BWV903
2. フルート独奏 水田 順子
伴奏 廣瀬 裕子
ソナチネ.....サンカン
3. ソプラノ独唱 井澤 明子
伴奏 原納 潤子
ピエロ.....ドビュッシー
遊びの仲間に入れて下さい.....トーマ
歌劇「ハムレット」より
地獄の怒り、我が胸に燃える
.....モーツァルト
歌劇「魔笛」より



第二部

1. ピアノ独奏 笠井 節子
ソナタ 第2番 作品14... プロコフィエフ
2. ソプラノ独唱 内海 節子
伴奏 岩村 由紀
夢のあとに.....フォーレ
ネル....."
月の光....."
熱い思いで待っているかと...ベッリーニ
歌劇「キャピレットとモンテギュー」より
もう恐れはせぬ.....ビゼー
歌劇「カルメン」より
3. ピアノ独奏 俵 京子
マズルカ 第10番 変ロ長調 作品17の1
.....ショパン
マズルカ 第11番 ホ長調 作品17の2
....."
スケルツォ 第4番 作品54....."

今年の子定・11月21日(休) ベガホール

卒業にあたって

107 吉岡 佳子

三年間回避し続け、暗黙の内にタプー化していた問題―卒業後の進路―が四年に進級すると同時に、俄かに現実問題として私達に迫って来ました。大卒女子の就職が常識の現在、就職活動に取り組む他学部同級生達に触発され、各人「決断の時」を迎えたのです。そして今、私達は十六年間親しんだ「学生」の肩書きに決別しようとしています。しかし、それ以上の年月を共にした「音楽」とは、各々形は異なるうとも一生涯接していく事でしょう。恵み溢れる環境の中、音楽の美しさ・深さ・厳しさを御指導下さった先生方、私達を暖く見守りお世話して下さった職員の方々、四年間本当に有難うございました。四月からは先輩方をお手本に、充実した新生活を送りたいと思っております。御指導宜しく願ひ致します。

音楽学部の近況



飯田正紀

営まれており、以前は学内の離れ小島の存在であった音楽学部も、他学部との情報交換が盛んになり、大学教授会、其の他の委員会に出席される先生方の積極的活発な発言などにより、最近では注目されているように思います。

昨年暮もおしつまった頃、突然下里先生からお電話を頂き本文の執筆を依頼されたのですが、それから旬日を経ずして先生の計報に接し、あの時の元気なお声を思い出すにつけ信じられないような気持です。

心から先生の御冥福をお祈り致します。

さて、オルチン館は皆様の御協力のもと、音楽学部教職員全員一致の努力により、大学教授会や理事会の方々の理解を得て、当初の計画を上まわる立派な建物完成しました。同時に旧館の改造もかなりなされましたので、使用状況は随分快適になり教職員及び学生一同大変喜んでおります。

教授会は学科長の池田先生を中心として民主的に運

営まれており、以前は学内の離れ小島の存在であった音楽学部も、他学部との情報交換が盛んになり、大学教授会、其の他の委員会に出席される先生方の積極的活発な発言などにより、最近では注目されているように思います。

二十近くある各種委員会には、殆どの専任教員が当たるように選挙されており、学科教授会の際、各種委員会報告を義務づけられていますので、漫然と出席しているわけにはいきませんし、報告をきいている方も学内全体の動きを識るようになります、啓発されることが多く意義があります。

会議中の先生方の発言は一部にかたよることなく、物おじなく、常に前向きに考えて行こうという姿勢が見られます。重要なことは可成り時間をかけて審議し、夜の十時頃にわたることもたまにはあります。なお、審議未了の場合は継続審議とし、最終的には投票によって決定しています。



基礎演技公開授業
(四年生音楽専攻他)

間の懸案であった専攻科が、全員の努力により、昨年暮遂に認可となり、本年四月より発足することとなりました。各方面に御案内を差し上げていますつもりですが、ここで紙上を借りて御報告させて頂きます。(次頁参照)

た田中修二先生が専任講師として着任されます。また、長らく待たれていたオーケストラ、コーラスの指揮者として、東京芸大大学院指揮科を卒業し、九年間ドイツのオペラ劇場で指揮者や主任として活躍されていた中村健先生が助教授として赴任されます。先生はクリスチャンであり、本学院元同窓会長の石川美知子さんの従弟でもありますので、学院にとっては当を得た人事といえましょう。また、客員教授としてデルガド先生の後任に、コルネリウ・ゲオルギユ先生が来日されます。先生はルーマニア系ベルギー人で、現在ブリュッセル音楽院のピアノ教授として優れた才能をお持ちの方です。非常勤人事に関しては、原則として、一つの部門に最低二名の講師を置くよう計画されており、本年度はマリンバ奏者として国の内外に著名な種谷睦子先生をお迎えすることになりました。

事務では、十一年振り復帰の河野事務長が魚が水を運び下さい。

舘野 泉氏を迎えてサロンコンサート

日時 1990年6月15日(金) 3:00PM

場所 大阪中之島ロイヤルホテル
2階「山楽」



写真 木之下 晃

プログラム

シューベルト

ソナタ「幻想」 G Dur D. 894

武満 徹

閉じた眼

ショパン

ソナタ 3番 h moll Op. 58

使用ピアノはベーゼンドルファー
モデル275(275センチ)92鍵

懇親会(立食パーティー)コンサート後

5:30PM~7:00PM 同ホテル
ダイヤモンドルーム

「音楽の勉強をしている方達ばかりで
しょう。皆さんと色々な話をしたいと思います。
そこで又、小さい曲を弾いてもいいで
すね。」とおっしゃっています。
皆様どうぞお楽しみに!!

フィンランドに住み、時々
帰国されて演奏活動をして
おられる舘野泉氏が、この
たびクラブファンタジー会
員のためのサロンコンサ
ートを開くことを快くお引き
受けくださいました。先生
のお話を交じえながら演奏
を聴くまたとない機会です。
お友達をお誘い合わせの上
(会員以外の方も可)ぜひ
おでかけ下さい。故下里会
長も昨年に会場の下見を
なされ、六月の来るのを樂
しみにしておられました。
申し込み方法、料金等は別
紙をご覧の上、お早めにお
申し込み下さい。

プロフィール
一九三六年東京生まれ。
一九六〇年東京芸大首席卒業。
一九六九年メシアンコンクール第二
位入賞し、シベリウス・アカデミー
の教授に就任。八一年以来、フィン
ランド政府より芸術家年金を給与さ
れ、教職を退いて演奏活動に専念し
ている。日本を代表する国際的ピ
ニストとして日本、北欧五カ国は勿
論、欧米豪ソ、中国、インドなど二
千五百回近く演奏。広いレパートリ
ーを持つが、ロマン派、印象派を好
み、ヨーロッパではシューマン、シ
ューベルト、メシアンなどのスペシ
ヤリストとして高い評価を受けてい
る。

神戸女学院大学 音楽専攻科概要

☆目的

本専攻科は大学音楽学部
の基礎の上に更に広い視
野に立ち、専門分野の高
度な芸術性を養うと共に
良識ある音楽家を育成す
る事を目的とする。

☆出願資格

音楽学科の課程を有する
大学の卒業生及びこれと
同等以上の資格があると
本学専攻科が認めた者。

☆修業年限は一年とする。

☆本専攻科を修了した者は
申請の上、中学校、高等
学校教諭専修免許状(音
楽)を取得できるものと
する。但し中学校、高等
学校教諭一種免許状(音
楽)取得者に限る。

叙勲のこと

古武 滋野



平成元年四月二十九日春の叙勲者の一人として選ばれ、文部省より通達を頂きました。勿論女学院大学の御推薦によるものです。

「来る五月十一日東京国立劇場において授賞式を行い、ついで皇居に参入、天皇陛下の拝謁があるので出席しよう」又、勲四等瑞宝章の勲記と勲章を授与するとこの事でした。私はこの数年足を痛めており、遠出は無理のため勝手ながら此度の御招きには欠席させて頂き、代りに東京の長男に行つて貰いました。残念ではありましたが、去る昭和五十九年の秋に叙勲を受けた主人と共に上京した時の事を思い出し書くことに致します。

思い出せば皇居の美しい

木々の間を車寄せに着きますと、金ボタンの係官が二人迎えに来られ、眼の少々不自由な主人の御世話をし下さつたので、私は急に気が楽になりました。勲章をつけて頂いた後、一同豊明殿に導かれ列立してお待ちする間、左側の大きな一枚板の二枚戸の引戸が静かに開き、今は亡き昭和天皇が侍従長に導かれてごゆっくり中央の低い二段の段上にお立ちになり、親しくねぎらいとお励ましのお言葉を頂いたのです。その日の感激は深く心に残り、皇居のお堀の水、松の木立の中に点在する純日本風の建物、青銅の美しい青い屋根の色、全て清楚で身のひきしまる思いでした。車寄せを入り広い階段の右の壁一面に、有名な東山魁夷画伯の大作があり、美しいグリーンとブルーの色も見事なものでした。心から満足して帰西いたしました。

七月二十七日には、弦の卒業生の有志により、宝塚ホテルでお心こもるお祝いの会を催して下さいました。これと云った功労もなく只二十七年余りをこの美しい学院に、よい学生さんに囲まれ、神を身近に教えられ、今この歳になり、本当に幸せだったと感謝する今日此頃でございます。卒業生の方々も各々よい教え子

を育て、又二世を音楽学校に入れられ、活躍して居られます。私の今日までに頂いた何よりの宝です。神戸女学院の歴史を負つてクラブ・ファンタジーの御発展を心よりお祈り致します。

こたけ しげの
東京音楽学校本科卒業。昭和27年女学院大音楽学部非常勤講師、助教授、教授、この間2回学部長、55年定年退職。女学院大学名誉教授。全日本毎日学生コンクール審査員。朝日演奏会推薦委員。日本弦楽指導者協会関西連合会理事。西宮芸術文化協会会員。54年兵庫県教育功労者賞、平成元年勲四等瑞宝章を受賞。

どひ みゆき
東京音楽学校卒。堀川高校音楽コース。京都市立音楽短大を経て、昭和42年女学院大音楽学部非常勤講師、53年教授。平成2年定年退職。その間に「日本歌曲伴奏シリーズ」を開催。



感謝の年月

土肥 みゆき

ほんの一年のお手伝いのもりで参りました神戸女学院大学の生活を二十年も重ねるとは、思いもかけない事でした。

会議室で卒業生の可愛い御嬢様達の御写真を並べながら「この御二人いい御縁じゃないかしら」と御相談なさっている教授の御姿、他の大学には見られない家庭的な雰囲気知らされたものです。

京都の北の果てから二時間かかって辿りつく岡田山少女のほにかみの様に可憐な校門をくぐりますと、雑木林を切り開いたアスファルトの坂道の上に山の気が漂ってきます。街のざわめきが遠のき自然に包まれた典雅なハーモニーが拡がります。

先導者達がこの地を選ばれ、建築にも自然にも限らない愛を込めて育んでこ

れた百有余年の造形と伝統。その中で多くの友を得、指導する事に依つて得難い教えを受ける事が出来ました。又、私の好きな異国の花々の咲き匂う春のシェークスピアガーデン、哲学的な秋の長方形の中庭では、大切な思索の時も持たせて頂きました。その限りなく深い恩恵に対し、只々感謝の気持一杯で御座います。

音楽学部ではこの二十年の間若々しいスタッフが加わり、様々なアイデアのもとに内容の充実が図られました。オルチン音楽記念館の完成、今春の専攻科の発足等、心豊かな思い出がお別れのさわにも実現した事を本当に嬉しく思います。「感謝」一言の中に万感を込めて御禮申し上げると共に、この貴い糧を大切に過ごしてゆきたいと思ひます。

飯塚新人音楽コンクールを受賞して

97 浅井 順子



此の度の飯塚での事を振り返ってみても、もう遠い日の事のように思えます。思わぬ受賞で表彰の時に感激の涙を流した私でしたが、すぐにも手放して喜ばなくなりませんでした。というのも、副賞がウィーンへの一ヶ月留学だったからです。夫も子供もいる私はどうやって行くか、これは辞退しなければならぬのではなにかと、帰りの新幹線の中でも少し分と悩みました。「僕が何としてみても行かせてやる」。そう言ってくれた夫の言葉は今も私の胸の中に残っています。こうして周囲のお

陰で、私はウィーンへ行く事となりました。女学院の研究科の時にいった時は、友達も一緒にただく楽しい一ヶ月でしたが、今回は、どんなに楽しんでいても、心の中の何パーセントかは日本にあるように思えました。ずい分と電話代もかかりました。しかし、一人でいる分、色々な事を考えさせられましたし、音楽にとつて何かとても大切なことに触れる事が出来たように思えます。自分が日本で行って、思っていた以上に強烈に感じられました。全ての事が日本よりもパワフルである事、たとえ宗教一つとつても、その違いをはっきり肌で感じました。大学を卒業して、いまだに歌える私は幸せだと思えます。あまり真面目でなかった私を導いて下さった畑先生は、子連れでお伺いしても快くレッスンして下さいまして下さいます。この度の受賞は、私にだけでなく周りの皆様と共に頂戴したものと心より感謝いたしております。無論我が母校、神戸女学院にも、ありがとうございました。

アメリカの教会に学んで



104 今村 雅子

シカゴにあるKCCC (Kobe College Corporation) が、故ラーソン先生をたたえて設けた「ラーソン・スエヒロ音楽奨学金」を頂いて、去年の八月末からこの一月初めまでアメリカのミルウォーキーで教会音楽を学んで参りました。このプログラムは教会専属の音楽監督の指導のもとに実際に演奏、聖歌隊指揮をしながら勉強するというもので、今回新しく始められました。ラーソン先生には在学中、合唱、オーケストラ、指揮法、教会音楽を教えて頂き、特に教会音楽の講義では先生のご研究のすばらしさ、信仰の深さを毎回のよう感じました。また日本基督教団塚口教会の聖歌隊指揮者を学生の頃から務めながら、いつもと礼拝音楽について学ばなければとの思いを抱いておりましたので、今回こうした機会を学校から与えて頂き感謝の気持ちでいっ

ぱいです。

私が四ヶ月半程過ごしましたプリマス教会は、ウイスコンシン州立大学ミルウォーキー校のすぐそばにあるUCCC (United Church of Christ) の教会で会員数約四百人、来年初立百五十周年を迎えるということでした。音楽監督のサリバン先生に礼拝音楽、讃美歌学、礼拝学、指揮法を、またその他にピアノ、オルガン、声楽のレッスンに週一回ずつ通い、三つのクワイヤールのメンバーでもありましたので、毎日は大変充実しておりました。

プリマス教会の聖日礼拝は音楽的に大変豊かなものでし



聖歌隊の練習・プリマス教会 左端 今村さん

た。そしてその準備のためにサリバン先生が多くの時間と心を費やしていらつしやるのを知り、それまでの私自身の母教会での働きがいかに足りなかったかを反省しました。特に印象的だったのは現代の言葉で讃美歌を歌っていかうとする姿勢です。百年前に作られた歌詞が今なおお達の心に響くのも確かですが、中には現代を生きる私達には理解し難いものがあるからです。言葉といえは聖歌隊、教会学校の子供達と日本語で讃美をしたのも良い思い出です。「主、我を愛す」の主が Love、愛すが Love だと言う子供には笑ってしまいましたけれど……。

短期間にハイドンのピアノ協奏曲をしたり、リサイタルをしたりと過密スケジュールでしたが、零下二十六度の寒気にも負けず健康に過ごせましたのは、ホストファミリーのベクストンさんをはじめ心暖かな教会員の方々の支えがあったこそでした。海を越えた遠い国で異なった文化、考え方を持つ私達が同じ神様を信じ分り合い、真の友人になれた幸せをしみじみ感じております。

「ア、ソハカノヒトカ」を耳だけで聞いて、その意味を瞬間に理解できる人が、今の時代、どれだけいるでしょうか？

オペラ上演の折に原語か訳詞かということは、今の日本においては、一長一短で結論の出せるものではありません。しかし、訳詞上

演の場合、何十年も前につけられた歌詞は、言葉遣いが文語体で不自然であったり、又、歌手の立場、作曲家の意図が考えられていないものが多く、日本語で歌われているにもか、わらず言葉が非常に聞きとりにくいのが現状でした。今回、二期会で上演され

「あゝそは彼の人が」

ではなく

「あゝそうよ。あの人よ」

——椿姫を訳して——

94 斎藤 言子

てみますと、想像以上に大変でした。日本語というのは丁寧語、敬語、又、男女言葉など、一つの言葉でも多くの表現方法があります。又、その時代背景、登場人物、個々のキャラクターを理解し、それぞれに見合った言葉遣い、又、舞台装置、大小道具等の把握など、訳詞にとりかゝる以前に勉強

しなければならぬ事が、山とありました。その上でのなるべく原語に忠実に、アクセントが標準語になるように、有声音、無声音の処理(強拍や、フレーズの頭はなるべく有声音が望ましい)歌手の音域と発音の関係等、すべて満たした上、曲のフレーズを壊さない様に、そして、やっと一つの

た「椿姫」は、私の最も好きなオペラの一つでもあり又、二年間のイタリア留学の経験を生かして、文学者としてではなく、歌手、聴衆の立場から、より自然なイタリアオペラと日本語のハーモニーを目ざして、全訳に取り組んだのでした。しかし、実際、やり始め



言葉を決められた数の音符にのせていく訳です。この時ほど、自分の表現力、語彙の不足を情けなく思った事はありませんでした。イタリア語というのは動詞変化で、主語がなくても、意味が通じる様になっていきますから、同じ意味でも音符が数が多くなってしま

のです。例えば、「POSSO」(ポッソ)という事は「私ができる」という事です。二個の音符についている言葉が、日本語にすると、どうしても、六個以上必要となる訳です。作曲者が、その言葉にメロディーをつけ

た訳ですから、なるべくそれに忠実に、その上、原語の発音とよく似た日本語に、そこまでこだわっておりませんでしたので、本当に、すべての条件を満たす言葉を見つけたる為に、たった二小節の訳詞にまる三日間考えた事もありました。

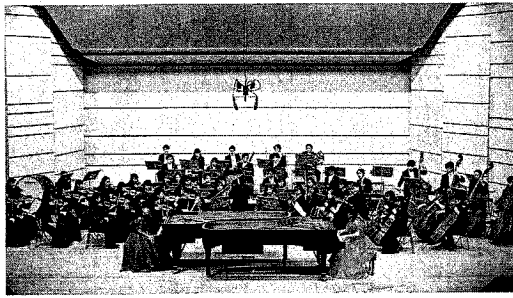
さようならを何度もくり返しても優しすぎて、悲痛感と強さが今一つ出ないのです。結局、「さようなら」(ジェルモン)「さようなら」(ヴィオレッタ)「お元気で」(ジェルモン)そして「もう二度と」(ヴィオレッタ)「さようなら」(二人)という事で解決しました。

オペラは演技がつくものですから、一応の原案ができた所ので、演出家と何度もやりとりをして、そして実際練習に入ると今度は歌い手側からの注文、指揮者からの意見など、又何度も手直しをしまして、半年がかりでやっと出来上がりました。



音楽学部定期演奏会

日時 '89年11月28日
場所 大阪厚生年金
中ホール



指揮 石橋義也
北村憲昭
ピアノ 松田陽子
岸田美穂
オーケストラ 音楽学部
合唱 音楽学部学生

- プログラム
- I 女声合唱組曲「蝶」より
中田喜直
作詩 伊藤海彦
 - II 2つのホルンとハープの伴奏
による4つの女声合唱曲
ブラームス
 - III 2台のピアノと管弦楽の為の
協奏曲 ブーランク
 - IV 交響曲第1番 ハ短調
ブラームス

一九九〇年度

音楽学部教職員

音楽学部長 飯田正紀教授
学科長 池田洋子教授
学生主事 前中明子教授
若本明志助教
教授

廣澤 節子 (Vo)
猪本 隆 (Co)
岡田 晴美 (Vo)
奥村 智美 (P)
音川 紘一 (P)
澤内 崇 (Co)
助教授
間苧谷明子 (P)
中村 健 (合唱オーケストラ)

専任講師
山上 明美 (P)
稲庭 達 (Vn)
斎藤 言子 (Vo)
田中 修二 (P)

新任非常勤講師

種谷 睦子 (Per)

客員教授

C・ゲオルギユ (P)

事務職員

河野 有宏
坂井 紀子
樋口 徹

関東支部だより

プログラム
1989, 6, 7
霊南坂教会礼拝堂

1. ドビュッシ―月の光
雨の庭
75 小菅 洋子
2. ヘンデル……シャコンヌと変奏曲
76 田中 道子
3. ヘンデル……主よ 感謝します
平和と恵のよき音信
をつとめるものは
シューベルト……アヴェ・マリア
メンデルスゾーン…歌の翼に
81 宇治田 真子
81 柳原 佳子
4. シューマン……幻想曲 Op. 17
第1楽章
82 浅香 悠紀子

8686

川崎和子
奥村 太美子

▼霊南坂教会礼拝堂で二重唱



今回の関東支部総会
平成二年六月一日
日暮里サニーホール

退職
土肥みゆき (P)
新任紹介
中村 健助教
東京芸大卒
田中 修二専任講師
京都芸大卒
おくやみ
53 (P) 堺美津子先生
平成二年二月二十七日に
召天された。享年七十五歳。
先生は卒業後約十年間、本
学院で教鞭を取られた。

ファンタジーコーラス
指導 76 桑田 由利子
86 関 由利子
会場 甲東教会(阪急甲東園東へ)
日時 毎月第2、第4金曜日10時20分12時
会費 月額千円

春の新人演奏会

出演者

一九八九年度107回卒業生

51名による卒業演奏会は三月六、七、八日の三日間、

神戸女学院講堂にて、又、

研究生八名による修了演奏会は三月一日、宝塚ベガホールにて行われました。

本年度卒業生一部による

新人演奏会は、四月十八日

(休午後六時半より大阪厚生

年金中ホールにて、例年通りクラブ・ファンタジー協賛で行われます。

(P) 藤原陸子 一瀬美子

坂上麻紀 仕館洋子

宇野厚子 吉岡佳子

(V) 小早瀬尚子 松本奈々

植澤由布

(Cem) 橋本依子

(Per) 波木基子

クラス委員を通じて入場券を御依頼申し上げますので皆様よろしく御協力下さい。

(入場料800円)

東京読売新人演奏会

②坂上麻紀

五月三日午前十一時
東京文化会館大ホール

関西新人演奏会

(P) 藤原陸子 (V) 小早瀬尚子

五月十日午後六時十五分
厚生年金会館中ホール

兵庫県大学新人演奏会

(V) 植澤由布 (C) 吉岡佳子

四月十四日、四月二十一日、時間未定

兵庫県民小劇場

西宮市文化振興財団「フレッシュ・コンサート89」

(V) 松本奈々 (C) 仕館洋子

四月二十二日
午後一時半

西宮市民会館アミティ
ホール

編集後記

今年には本当に色々ありました。まず一番の大仕事である名簿作りに取り組みました。又、何かファンタジー主催の音楽会をしたものだとか常々考えていたことも、館野泉さんの快諾で開催する運びになりました。下里先生を中心に忙しいながら和氣調々仕事をしておりましたところ、年が変わって早々先生の悲報に接し、しばらくは全気が抜けたような日が続きました。でも山のような仕事に追い立てられ、一番気になっていた会長も、岡田先生が引き受けて下さったので、再び全員頑張ってファンタジー便りに全力投球しました。皆様のご活躍、ご意見、ご希望等ありましたらお聞かせ下さい。

クラス委員

49~51	小加藤	西輪村	芳泰	子江	71	平魚	野住	恵千	美代	子子子	89	成村	祐松	章知	子子子
52	藤土	居海	上俊	鈴子	72	櫻浦	田川	千由	代祁	子子子	90	村田	松植	知さ	子子子
53	土浅			子子子	73	大関	向田	美智	智智	子子子	91	井井	藤藤	裕晴	子子子
54~55	原廣	居海	俊敏	子子子	74	河鈴	合田	美智	智智	子子子	92	井井	藤藤	孝孝	子子子
56	村高			子子子	75	大関	向田	美智	智智	子子子	93	井井	藤藤	惠惠	子子子
57~58	高福	田地	華照	子子子	76	河鈴	合田	美智	智智	子子子	94	井井	藤藤	美美	子子子
59	谷松	田地	澄彰	子子子	77	弘梅	合田	美智	智智	子子子	95	井井	藤藤	雅啓	子子子
60	石熊	津田	彰彰	子子子	78	森興	合田	美智	智智	子子子	96	井井	藤藤	晁晁	子子子
61	熊深	田浦	昌恒	子子子	79	高山	合田	美智	智智	子子子	97	井井	藤藤	敬昭	子子子
62	深福	口浦	恒洋	子子子	80	苗横	合田	美智	智智	子子子	98	井井	藤藤	裕裕	子子子
63	福鍋	浦上	尚素	子子子	81	大久	合田	美智	智智	子子子	99	井井	藤藤	美惠	子子子
64	立	谷田	せ暢	子子子	82		合田	美智	智智	子子子	100	井井	藤藤	知佳	子子子
65		田島		子子子	83		合田	美智	智智	子子子	101	井井	藤藤		子子子
66		川		子子子	84		合田	美智	智智	子子子	102	井井	藤藤		子子子
67				子子子	85		合田	美智	智智	子子子	103	井井	藤藤		子子子
68				子子子	86		合田	美智	智智	子子子	104	井井	藤藤		子子子
69				子子子	87		合田	美智	智智	子子子	105	井井	藤藤		子子子
70				子子子	88		合田	美智	智智	子子子	106	井井	藤藤		子子子
				子子子			合田	美智	智智	子子子	107	井井	藤藤		子子子

会員の皆様へのおねがい

★会員住所変更の場合は、必ず左記へお届け下さい。

熊谷 香

本年度役員

会長 67 岡田晴美

63 谷口昌子 66 熊谷 香

75 井上敬子 77 浜崎弘子

79 弘岡基子 81 沢田千佳子

81 森・文代 84 高松礼子

85 苗村紀子 85 今城信子

★一九九〇年度会費千円を七月末までにお送り下さい。(99回以後卒業時に十年分の会費を前納された方を除く)